

第2回オンラインミーティング(9/25)参加者アンケート結果一覧

通番	質問1						
	満足度	良かった点・悪かった点					
1	満足	前回よりも参加者の発言機会が多く、とてもよい手法だと思いました。意見を取り入れてくださってありがとうございます。					
2	満足	今回始めてグループセッションを行いました。全体で行うよりも比較的自由に発言できたので充実した議論を深められました。					
3	満足	何人かの人が指摘していたが、図書館の予算を削るべきかで参加者間で賛否がある。勿論市としては予算を削ることが前提だから、議論の必要はないという認識なのかもしれない。しかし、参加者が全体で前提を共有できていない以上、予算は削るものという認識の徹底を図るか、一度議論の機会をしっかりと設けたほうがよいのではないかと感じた。					
4	満足	1人1人の発言時間が配分されていて、円滑にミーティングが進んだと感じた。					
5	満足	発言機会が増え、また他の方の発言を聞く機会も格段に増えたから。資料も見やすくなっていました。ありがとうございました。					
6	満足	-					
7	やや満足	参加者が少なかった？ように感じました。欠席の人からの事前の意見は、今回はなかったのでしょうか。休憩や、グループ討議が入り、良かったと思う。					
8	やや満足	グループに分かれて話せたことは、やり取りの出来る協議に近づいていたと思う。課題の設定内容が、むずかしい。					
9	やや不満	テーマに対して参加者が個々の意見を言う一方的な感じで、バラバラ感が否めませんでした。参加者同士の対話や話し込みをしようとする実感が少ない感じです。市民の意見を聴くことに徹していらっしゃるせい、図書館という“組織”対一般市民という構造のような気がして、実際に図書館で働いている方々が“見えてこない”からではないでしょうか。せっかくの機会、私は図書館の方々、館長さんともっと対話できると思っていました。それぞれの参加者の温度を感じられる対話ができると、もっと楽しく参加できますね。					
通番	質問2						
	進め方	ご意見・ご要望					
1	良い	次回も前回の振り返り→全体での発言→グループセッションの流れがよいように思います。					
2	良い	グループセッションの形式をとったことで、他の参加者とも距離が近くなった感覚がして、意見交換がしやすくなったと感じた。					
3	良い	後半の進め方(2グループに分かれて)が良かった。この時間を増やせるとさらに“市民ミーティング”の意味が出てきそうに思いました。					
4	良い	少人数の班に分かれてのSESSIONと全員SESSIONの2つがあって良かった。					
5	良い	-					
6	どちらかと言えば良い	接続確認に手間取っていらっしゃいましたが、今回のように紙に書いて連絡するなどの方法は良かったと思います。					
7	どちらかと言えば良い	2グループに分かれてのディスカッションは、発言の機会も増えるし、良いと思いました。ただ、そのまま終わってしまったので、最後にもう一度全員の場に戻して各々のグループでの話し合いの様子や内容の報告があったら良かったと思います。なんとなく落ち着かない終わり方でした。					
8	どちらかと言えば良い	参加者それぞれの図書館の体験や期待があり、様々な意見があると思うが、そこから、一挙に、市民の利用と認知の拡大と低コストという課題の回答へ行く議論には、すぐ飛躍があると感じた。					
9	どちらかと言えば悪い	オンラインの場には慣れてきたものの、会の雰囲気がとても硬くて自由に話せる感じではないのが残念です。オンラインでは参加者同士が親しくなりにくいのが課題ですので、まずは場を和ませる工夫をお願いしたいです。					
質問1 集計結果	満足	6	質問1：満足度 	質問2 集計結果	良い	5	質問2：進め方 
	やや満足	2			どちらかと言えば良い	3	
	やや不満	1			どちらかと言えば悪い	1	
	不満	0			悪い	0	
	合計	9			合計	9	

通番	質問3 発言できなかったご意見等
1	<p>①広報とよやかに、豊中市立図書館各館の特徴を比較するページがあっても良いと思いました。それが無理ならば、HPでも良いのではないのでしょうか。</p> <p>②『TOKYO図書館紀行』『KYOTO図書館紀行』のように、大阪版があれば素敵ですね。いずれにせよ、既存の利用者層以外にアピールするには、図書館界全体が手を取り合った広報が必要に思います。</p>
2	<p>グループセッション中に利便性に関する話題が出ていましたが、それに関して利用者アンケートにある「返却ポストの増設」や「専門書の蔵書を増やす」といったことは比較的lowコストで行えるので、非常に参考になるかと思えます。</p>
3	<p>繰り返しにはなってしまうかもしれませんが、複合施設など他図書館をお手本にしても良いのではないかなと感じました。複合施設として、美術館や博物館を隣接させるなど様々な工夫ができるのではないかと考えました。</p>
4	<p>行政が提案していく図書館もあるかもしれないが、これまで、見てきた市民の図書館として生きているところは、多様な市民と図書館が、共に、こつこつと作ってきた営みがある。提案をしたから、行政がこんなサービスをしてよねということではないと思う。日常のなかで、市民の一人一人が、主人公として考え、参加する、あるいは、応援する図書館が、基盤ではないかと思う。</p>
5	<p>伝わりにくかったと思われる単語を補足しておきます。</p> <p>20～30代で個人が出版する雑誌があるとお話したのは「ZINE」(ジン)です。大阪でもZINEの販売やフリーペーパーを設置するお店として、「ローカルメディア&シェア本屋 はっち」や庄内では「犬と街灯」というお店があります。</p> <p>執筆や雑誌制作、デザインをしたいという人は大阪という土壌からして少なくないと思うので、公募で発信者・主体的な利用者を育てられる可能性はあるかもしれません。</p>
6	<p>北摂7市の比較が資料としてありましたが、あんな風に提示されると豊中の人件費が突出して高いように感じます。摂津は指定管理と記載、私の知る限りでは、箕面や吹田は一部業務を民間に委託しています。指定管理業者にどのくらい払っているのか、委託費としてどのくらいの支出があるのかも併せて示さなければ、本当の意味での比較にはならないと思います。また、2000円問題のことを、図書館の努力不足で達成できなかった、またそのことをきちんと市民に説明してこなかった…と言われていましたが、そもそも2000円に設定された根拠が同じくらいの規模の都市での平均値から算出されたか聞いています。図書館の数やサービスのレベルなど一切考慮に入らずに、低い方のレベルに合わせて、市民に対するサービスの低下を無視して進めれば達成できたかもしれませんが、そうでなければもともと無理な目標だったと思います。とはいえ、やると言ってしまった以上は、責任があるのでしょうか。とにかく市民の未来に貢献できる図書館であり続けるよう、知恵を絞っていききたいと思えます。</p>
7	<p>図書館を取り巻く課題について、市民と行政が共通認識を持ち、今後の図書館のあり方について話し合うため、図書館事業費(合計と内訳)(2010年(H22)(実績)～2020年(R2)(予算))と人口の推移を調べ、市民1人当たりの図書館事業費を算出した資料を作成し、10/23の第3回MEETINGまでに参加者全員にMAILか紙で送付して下さいようお願い致します。</p> <p>(以上の資料無しでは、「オンラインミーティング開催の趣旨」に合致した会にならないと思いますので。)</p>
通番	質問4 参加されたご感想等
1	<p>参加者の方のパーソナリティがわかってくると、同じ地域に住む人として議論がしやすくなると同時に、アイデアが出てきやすくなるように思いました。</p> <p>そして、ミーティングの場で生まれたアイデアを実施するには、図書館の中に直接的な実行権をもつ正規の司書がいることが必須の条件になると改めて思いました。</p>
2	<p>ミーティングが前回よりスムーズに進んだのではないかと感じています。</p>
3	<p>皆さんが様々なアイデアを出されていたので、発想の豊かさに感嘆いたしました。次回のミーティングも楽しみにしております。</p>
4	<p>皆さんのアイデアに感心しました。いろんなことができそうで、楽しかったです。(お金のことは置いて…ですが)</p>
5	<p>地元中央図書館は他の市の図書館に比べて先進的ということが分かったので、愛着を持ってより積極的に利用したいと思った。</p>
6	<p>①大阪モノレールの「モノレール文庫」のようなファストフード的図書館も、「未来の図書館」の一つの形として提案できるかもしれません。(話題の図書だけに絞ってコストやスペースをカットし、その分で駅近にする。どこの駅でも返却可能。あつてないようなルール。職員がおらずとも成り立つ自販機型システム)</p> <p>②話題が多岐に亘ってまとまらず、運営側へ貢献できているのか不安。</p>
7	<p>図書館の機能や可能性は、自由に考えていくと無限にあるように思います。ですので、それぞれのテーマを話し込むことは1時間半のオンラインではかなり難しいですね。各回のテーマも、それぞれ非常に大きいテーマですし…。専門家を集めた会ではないので、偏りがあったとしても参加者が話しやすいもっと身近な具体的なテーマに絞った方が良くないかと思いませんね。</p>